

平成26年度特別展 竹久夢二生誕130年
～高相コレクションより～

大正ロマンの 恋と文

YUMEJI TAKEHISA'S
TAISHO
ROMANTIC
LOVES & LETTERS



平成26年8月30日(土)～10月19日(日)

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）※初日の8月30日のみ、11時より開館

休館日：9/1(月)、8(月)、16(火)、17(水)、22(月)、29(月)、10/6(月)、14(火)、15(水)

観覧料：一般400円/団体300円(20名以上) ※ぐるっとパス、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介助者は無料

会場：三鷹市美術ギャラリー 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-35-1 CORAL5階 Tel: 0422-79-0033

主催：三鷹市(公財)三鷹市芸術文化振興財団 協力：竹久夢二美術館 千葉市美術館 株式会社港屋 有限会社及川音楽事務所

問合せ先：(公財)三鷹市芸術文化振興財団 文芸課 山本有三記念館内 0422-42-6233



大正ロマンの恋と文

YUMEJI TAKEHISA'S
TAISHO
ROMANTIC
LOVES & LETTERS

「夢二式美人」で大正ロマンを代表する画家、竹久夢二(1884-1934)。常に時代感覚を先取りするパイオニアであった夢二は、それまで敷衍の高かった絵画を大衆に発信し、より私たちの生活に身近なものにしました。雑誌の口絵や挿絵、セノオ楽譜や文学作品の装幀はもちろんのこと、時には自ら詩を紡ぎ「宵待草」は流行歌となりました。夢二は生涯にわたり創作領域にこだわらぬ自己表現を貫いたといえます。

三鷹市が所蔵する高相コレクションの特徴は、膨大な文にあります。本展では肉筆画や装幀本のほか、妻・たまき、「宵待草」のモデルとされるおしま、夢二が最も愛した彦乃、モデルから恋人となったお葉、「少年山荘」に編集者として訪れていた秀子宛ての書簡を中心に公開します。多忙な創作の渦中に筆をとり、夢二が心の拠りどころにした女性たちにしたためた想いとは…。

本展覧会によって、生誕130年、没後80年を迎える竹久夢二の多彩な功績に華を添えられれば幸いです。

〈関連イベント〉

竹久夢二生誕 130 年記念講演会

竹久夢二の遺したもの～高相コレクションより

— 生誕 130 年、没後 80 年を迎えて —

共催：三鷹ネットワーク大学

講師：谷口朋子（竹久夢二研究家、町田市民文学館学芸員）

日時：9月21日（日）午後2時～3時半（開場は午後1時半より）

会場：三鷹ネットワーク大学

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

Tel：0422-40-0313

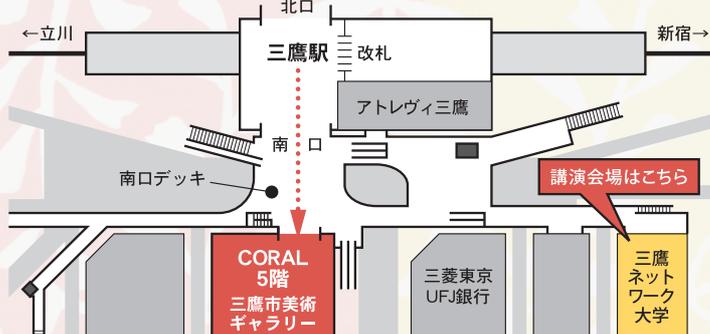
定員：60名（応募多数の場合は抽選）

参加条件：受付時に本展示会の観覧券（すでに観覧された方は半券で可）のご提示が必要となります。（お持ちでない方は当日受付にてご購入できます）

申込方法：往復はがきに、氏名、住所、電話番号、返信用はがきに宛先をご記入の上、〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 2-12-27 三鷹市山本有三記念館「竹久夢二記念講演会」係までお送りください。9月7日（日）必着。

お1人様1応募限り。はがき1枚につき1名様のみ。

【会場地図】



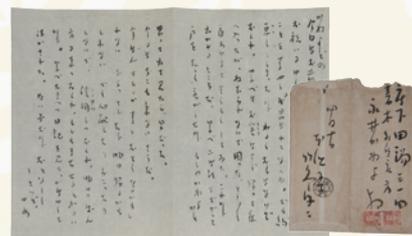
「宵待草に題す」 大正9年



「秋風」 昭和2年



たまき宛 大正4年2月8日



お葉宛 大正9年4月10日



『三味線草』

<左>大正5年 <右>大正9年アト版 ともに新潮社